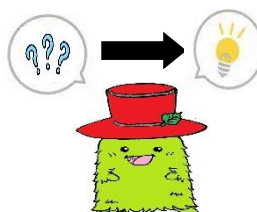


研究推進便い



6号

令和5年5月23日
小平市立小平第九小学校
研究推進委員会

研究主題について

令和4.5年度 東京都人権尊重教育推進校 小平市研究推進校

研究主題

「自己肯定感を高め、自分のことも相手のことも大切にできる児童の育成」
～気持ちを伝え合い、互いに認め合う活動を通して～

第3回 校内研究会（全体会第2回）の集約

	決定事項	変更点	保留点
1年生	自己肯定感を高めたいので、その狙いに準ずる教材にする。身体的なよさだけでなく、内面的なよさに着目させる補助発問も用意する。	教材の変更「ハムスターの赤ちゃん」→「ええところ」	・絵本で示すか、教科書で示すか。 ・中心発問「手が温かいところがどうして「ええところ」なのでしょうか。」で伝わるか。変更すべきか。
2年生	お互いのよさを認め合ったり、評価しあったりする場面を通しての変容を見せたいので、最終時の発表場面を本時とする。	練習動画の撮影はなし。 評価する項目を具体的に する。	・ワークシートの準備
3年生	教材(掲示物)→紙で黒板に貼るかクロムブックを用いて移す。 SDGsのアイコン 3「すべての人に健康と福祉を」 人権教育の視点(技能的側面) 自己の生活の課題を見だし、 解決するために話し合い、意思 決定したりする能力を育成する。		
4年生	SDGsのアイコン 4「質の高い教育をみんなに」	「単元設定の理由と」「人権教育の視点」の2つの項目に分けて指導案を作成する。	

5年生	・SDGs「16 平和と公正をすべての人に」を扱う。 ・普段の道德の授業で心のバロメーターを扱う。	・心のバロメーターは、個人で記録できるようにする。	・ハンセン病資料館に、児童が見学に行けるかどうか。(6月の教員向け見学を終えた後に再度検討したい。)
6年生	・特別の教科道德で授業を行う。内容については、令和5年度人プロP35を扱う。 ・SDGs「10 人や国の不平等をなくそう」「16 平和と構成をすべての人に」を扱う。		・内容を変更すべきかどうか。 - 人プロの内容を変えず、紹介する形式で行うか、児童の実態に合わせて柔軟に変更を加えるべきか。
専科	・SDGs のロゴは12「つくる責任、つかう責任」	・教員が撮影した画像を学級全体で共有し、変化の様子が分かりやすいようにする。 ・児童の発言に対して聞き返し、「何が、どのようにいいのか」明確にさせ、全体共有できるようにする。	・授業場所(ホールが使えないなら4階研修室、または学習室2を希望する)
ポブラ	テーマ:生命 1組…国語「発表」 2～4組…生単 SDGs→大テーマのみならず、小項目からも抜き出す。	動物や生き物とのふれあいを通して命について学び、自己肯定感につなげる。	1組…1学期動物とのふれあい、飼育体験等を通してのまとめを発表する予定 事前学習の中で動物愛護センターの方を呼び、話を聞いたりする。

各学年の授業内容の提案、確認ありがとうございます。

今回話し合っていたいたことを、6月の指導案相談会までに指導案に落とし込み、完成するようにしてください。

よろしくお願いいたします。